

会 議 記 録

名 称		令和8年度第1回中央区文化財保護審議会
開催年月日・場所		令和8年7月8日（水曜日） 午前10時～10時40分 本の森ちゅうおう 5階 会議室
出席者の氏名	委員	玉井会長 谷川副会長 馬場委員 岩切委員 山崎委員 西木委員 湯浅委員 初田委員
	教育委員会事務局	石川図書文化財課長 榎戸郷土資料館次長 高荷主事 仲光総括文化財調査指導員 伊藤、小野寺文化財調査指導員
議事の概要		1. 開会 2. 会長挨拶 3. 職員紹介 4. 区民文化財候補についての説明・審議 (1) 令和8年度文化財保護審議会の運営について (2) 区民文化財の登録候補について（審議） ○紙本墨画錨図 5. 報告事項 6. 連絡事項 7. 閉会
審議の経過		別紙のとおり

令和8年7月8日開催
中央区文化財保護審議会
審 議 の 経 過

1 開 会

- 図書文化財課長が、本日の会議は出席委員の定足数を満たしており、有効に成立していることを報告した。

2 会長挨拶

- 玉井会長が挨拶を行った。

3 職員紹介

- 図書文化財課長が、事務局職員を紹介した。

4 区民文化財候補についての説明・審議（議長 玉井会長）

（1）令和8年度文化財保護審議会の運営について

- 事務局（郷土資料館次長）が、審議会運営について説明を行った。
年間の審議会日程・予定について、第2回は、諮問（10月下旬～11月頃）、第3回は答申前の最終審議（1月初旬頃）、答申は1月下旬の予定である

（2）区民文化財の登録候補について（審議）

- 担当する文化財調査指導員が、概要等を読み上げて説明を行い、委員の意見を聴取した。

紙本墨画錨図（登録候補）

（主な意見等）

- ・ 船の停泊場は、要素としては佃島だが、誇張されて描かれている部分もあるので精査すること。
- ・ 佃島の歴史を表す絵画という点から登録理由を歴史資料とともらえられるので、絵画としての評価を強調するのであれば絵自体の価値について記載を充実させること。
- ・ 住吉錨の語源から住吉神社との関係性について言及できると良い。
- ・ 是真には日本橋界限に畳筋が多く慶事のために、紙本作品として絵を描くことが多かったもので、本作品もその一つであるのではないかと。祝い事のシンボリック要素として佃の錨作りが描かれている可能性があるため、区としてその部分の評価をいかに行うかが重要である。
- ・ 是真の作品の全体像の中における本作品の位置づけを説明すること。
- ・ 錨鍛冶についての史料を検索し詳細について追記すること。
- ・ 明治17年という年代における絵の意味についても推察すること。
- ・ 傷んでいる軸装は登録外とし、本紙のみを登録対象しているが、登録範囲については所有者含め今後確認を行うこと。

5 報告事項

- 事務局（郷土資料館次長）が、佃島渡船場跡の石碑の一時移設について説明した。

6 連絡事項

- 事務局（郷土資料館次長）が、委員の任期更新及び次回の文化財保護審議会について説明した。

7 閉 会